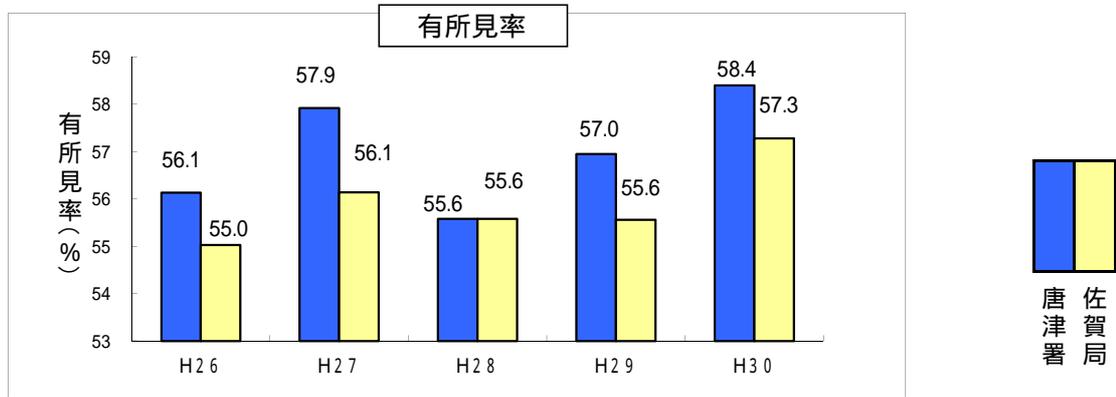


# 唐津労働基準監督署における定期健診有所見率の推移

## 脳・心臓疾患(「過労死」) に繋がりやすい検査項目

唐津労働基準監督署 安全衛生課

佐賀労働局(県)における近年の定期健康診断の有所見率(健康診断項目のうち異常所見のあった者《有所見者》の割合)は、常に全国を上回って推移しておりますが(平成30年の全国の有所見率は55.5%)、唐津労働基準監督署における有所見率は過去5年間で4回も佐賀を上回っており、平成30年は58.4%と前年より1.3%増加しております。健康診断の実施だけではなく、適切な事後措置を行うとともに、有所見率の改善に向けた取組が求められています。



脳血管疾患及び虚血性心疾患等(脳・心臓疾患)による労災請求件数は、平成29年度は全国で840件で、前年度比15件の増となりました。

この脳・心臓疾患を予防するためには、その機序となる脂質異常症や、高血圧症、糖尿病等の生活習慣病と関係が深い健康診断項目の有所見者に対して、適切な事後措置を行い、有所見状態の改善を図ることが重要です。特に、「過労死」にも繋がる脳・心臓疾患に関する以下の検査項目に着目した健康確保対策を進めましょう。

